

2004年(平成16年) 1月16日(金曜日)

信濃毎日新聞

大塚製薬による寄付講座

信大医学部が設置

04年度

信大医学部(松本市)

は十五日、大塚製薬(東

京)による寄付講座「循

環器病再生医学講座」を

二〇〇四年度、大学院医

学研究科に設置すると発

表した。寄付講座は信大

で初めて。設置講座は、

心臓の再生医療の研究を

進めていく。

寄付講座は企業などの

寄付で人件費や研究費を

賄い、大学側の人的資源

を活用する制度。信大の

講座は寄付額が年間二千

万円、期間は三年間。

教授と助教授、助手の三

人が教員を務め、教授は

池田宇一・大学院医学研

究科教授が兼任、助教授

と助手は信大が大学内外

から入選を進めている。

講座では、心筋こうそ

くや狭心症の治療や製薬

に役立つ研究を進める予

定。拒絶反応のない、患

者自身の骨髓細胞移植に

よる心臓血管の再生など

を視野に入れている。

大塚製薬広報部は「最

先端の再生医学の研究者

育成などに貢献したい。

将来的な投資にもつなげ

たい」としている。

寄付講座は二〇〇二年

度末現在、全国の三十七

国立大に計百二十の講座

が設置されている。

信大医学部はこの日、

独立行政法人化を控え、

寄付講座など産学連携の

窓口として「知的財産活

用センター」を四月に開

中 信 濃 毎 日 新 聞

2004年(平成16年) 1月16日(金曜日)

4月から企業寄付

医学講座を開設

信州大大学院研究科

松本市の信州大大学院

医学研究科は十五日、企

業寄付による講座「循環

器病再生医学講座」を四

月から開設することを明

らかにした。信大で寄付

講座の設置は初めて。

寄付講座は、企業の奨

学寄付金で研究経費を賄

い、設備やノウハウ面で

効率的な研究を進める産

学共同研究の一形態。信

大では、大塚製薬(東京

都)からの年間二千万円

の寄付金で、「循環器病

の病態解明」と「再生治

療法の開発」を目的に、

血管に変化する手足の自

己骨髓細胞を心臓へ注入

すること、開胸するこ

となく心筋梗塞(こうそ

く)や狭心症など心臓疾

患を治療する最先端の手

術や薬の共同開発を行

う。研究期間は三年間。

講座は同大学院臓器発

生制御医学講座の池田宇

一教授が兼任し、助教授と助手(ともに未決定)の三人で担当。池田教授は「信大の象徴となるような研究成果を挙げ、第二、第三の寄付講座の呼び水になれば」と話している。